



—ONWARD—

2024年2月期（2023年度）第1四半期

決算説明資料

2023年7月6日

株式会社 オンワードホールディングス

本日は、当社グループの第1四半期決算内容につきまして、決算説明資料を用いてご説明をさせていただきます。

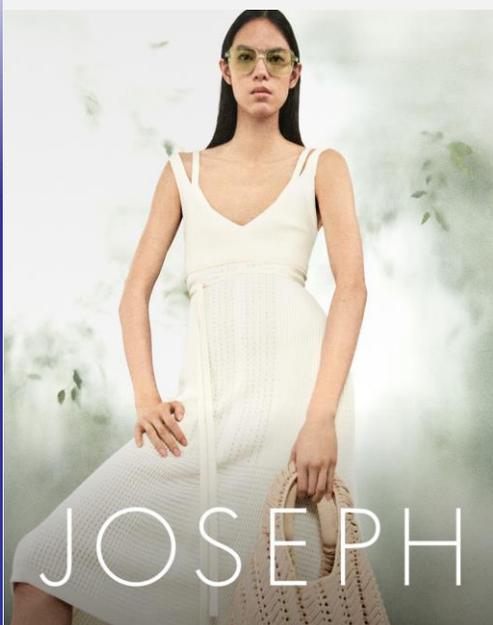
今回の主なポイントは2点。売上及び各段階利益で大幅な増収増益を実現し、当初の見通しを上回る数値となったこと、足元の状況を踏まえ上方修正を行うことです。まず、決算説明資料の5ページをご覧ください。

オンワードグループのミッションステートメント

ヒトと地球に潤いと彩りを



01	連結実績および連結業績予想ハイライト	4
02	2023年度1Q 連結実績	10
03	2023年度上期・通期 連結業績予想	13
04	TOPICS	16
05	補足資料	19



Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

4

01

連結実績および
連結業績予想ハイライト



- ① 第1四半期においては、顧客本位の商品開発と販売サービスの強化に注力した結果、23区、五大陸、チャコット、ペットパラダイスなどの主力ブランドが、引き続き好調に推移。また、KASHIYAMA、UNFILOなどの新規ブランドも成長を加速。
- ② OMOサービス「クリック&トライ」の認知度が高まったことや、SNSを活用したマーケティング施策の精度が上がったことなどから、リアル店舗およびオンラインストアへの来客数が着実に増加。その結果、売上高が当初の計画を上回って伸長。
- ③ ここ数年にわたって取り組んできたグローバル事業構造改革の成果が顕著に現れたことや、商品サプライチェーンの効率化が進んだことなどにより、売上総利益率が引き続き上昇。一方で、ブランド複合店舗の展開による販売効率の改善などにより、販管費率が大幅に低下。
- ④ この結果、営業利益、経常利益、当期純利益の全てにおいて大幅な増益を実現。

こちらに、決算ハイライトとして第1四半期の連結決算の概要を記載しております。

第1四半期の連結実績は、売上高は前年同期比12%増、金額にして54億円増の499億円となりました。23区、五大陸、ペットパラダイス、チャコットなどの主力ブランドが好調に推移し、また、オーダースーツのKASHIYAMAやUNFILO(アンフィーロ)などの、売上高50億円規模を目指す新規ブランドが成長、OMOサービス『クリック&トライ』の加速などが寄与しました。

なお、ブランド事業については20ページと21ページに、OMOサービスの導入店舗数などは、22ページに補足情報を記載しておりますので、そちらをご参照いただければと思います。

利益面では、営業利益が前年同期比168%増、金額にして34億円増の54億円となりました。値引き販売の抑制やサプライチェーンの効率化などにより売上総利益率が向上、また、ブランド複合店舗、『オンワードクロゼットセレクト』の展開などによる、販売効率の改善などにより、販管費率が低下しました。

経常利益は前年同期比84%増、金額にして22億円増の49億円、当期純利益は前年同期比84%増、金額にして15億円増の33億円となりました。

続いて6ページをご覧ください。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
上期	900 億円 〔前年同期比 +10% +78億円〕	40 億円 〔前年同期比 +1973% +38億円〕	34 億円 〔前年同期比 +420% +27億円〕	24 億円 〔前年同期比 +404% +19億円〕
通期	1,888 億円 〔前期比 +7% +127億円〕	100 億円 〔前期比 +92% +48億円〕	90 億円 〔前期比 +69% +37億円〕	50 億円 〔前期比 +63% +19億円〕

- ① 第1四半期の業績が当初の見通しを大幅に上回って進捗したことを受けて、上期の業績予想を上方修正。
- ② 下期の期初予想を据え置いた上で、通期の業績予想も上方修正。
- ③ その結果、通期の営業利益は100億円（2012年度以来11期ぶり）、経常利益は90億円、当期純利益は50億円を予想。

足元の好調な推移を踏まえて、上期および通期の業績予想を上方修正します。

修正後の上期業績予想値は、売上高は前年同期比10%増、78億円増の900億円、営業利益は約20倍、38億円増の40億円、経常利益は約5倍、27億円増の34億円、当期純利益も約5倍、19億円増の24億円を見込んでおります。

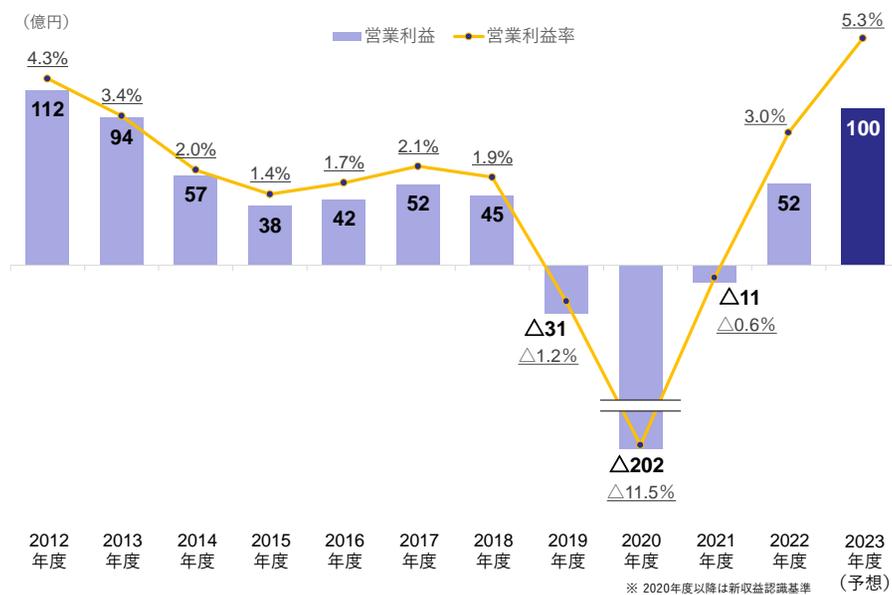
下期は期初予想を据え置き、通期は上期の変動分がそれぞれ増加し、売上高は前年同期比7%増、127億円増の1,888億円、営業利益は約2倍、48億円増の100億円を予想します。経常利益は69%増、37億円増の90億円、当期純利益は63%増、19億円増の50億円を予想します。期初予想との比較につきましては26ページの補足資料をご参照ください。

7ページをご覧ください。

営業利益および営業利益率の推移

ONWARD

■ 2023年度の営業利益は、2012年度以来11期ぶりに100億円に達する見込み。



2012年から2023年度予想までの、営業利益及び営業利益率の推移を表示しております。2023年度通期は、11期ぶりに営業利益100億円に達する見込みです。2008年のリーマンショック以来、特にリアル店舗の収益性が低下し、海外の採算性も低下したため、営業利益率が1%から2%程度の低い水準で推移しました。これを受けて、2019年にグローバル事業構造改革をスタートしましたが、直後にコロナ禍に見舞われ、2020年度は200億円を超える大幅な営業赤字となりました。2021年度から回復基調となり、2022年度は4期ぶりに黒字化し、2023年度は営業利益100億円を達成できる見通しです。営業利益率につきましては、構造改革によって、筋肉質な経営体質に変わってきており、5%を上回る予想です。

続きまして8ページ。

■ 配当方針

株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけ、配当性向の目安を35%以上とし、安定的で業績に連動した適正な利益配分を実施。

- 2023年度の期末配当（2024年5月予定）は、当期純利益の通期予想の上方修正に伴い、期初計画の14円から2円増配（2022年度の12円から4円増配）の16円を計画。

■ 配当の状況

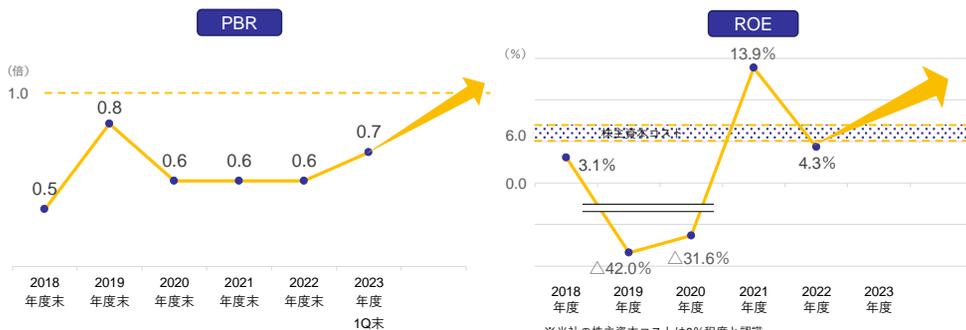
	2023年度		2022年度
	修正予想	期初計画	
1株あたり配当金	16円	14円	12円
配当金額	2,171百万円	1,900百万円	1,628百万円
当期純利益	5,000百万円	4,000百万円	3,061百万円
配当性向	43.4%	47.5%	53.2%

株主還元について。当社は、配当性向35%以上を目安とした、安定的で業績に連動した利益配分を基本方針としております。従って、今回の通期業績予想の上方修正に伴い、期末配当予想についても上方修正します。2023年度期末の1株当たりの配当金は、期初予想の14円から2円増配、2022年度期末配当から4円増配の16円を計画します。配当金額は21億7千1百万円、配当性向は43.4%となる予想です。

続きまして、11ページ。

現状認識と今後の計画

PBRとROEの改善が経営上の重要課題であるとの認識の下、来年4月に公表を予定している「ONWARD VISION 2030」の改訂バージョンおよび中期3か年経営計画(2024年度-2026年度)と合わせて総合的な財務戦略を公表し、スピード感をもって推進。



今後の開示予定

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」として、以下の開示を予定。

- 2023年度中間決算発表時 (2023年10月) : 財務方針や目標財務指標などの骨子
- 2023年度期末決算発表時 (2024年4月) : 財務方針と目標財務指標の実現に向けた具体策



Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

10

02

2023年度 1Q 連結実績

2023年度 1 Q 連結実績

- 売上高は、前年同期から54億円増加(+12.0%)し、499億円に拡大。
- 営業利益は、売上総利益率の向上(+2.6%)と販管費率の低下(△3.7%)の結果、前年同期から34億円増加(+168.3%)し54億円、営業利益率は10.8%(+6.3%)となった。
- 当期純利益は、15億円増加(+83.6%)し、33億円に伸長。
- EBITDAは、32億円増加(+94.5%)し、65億円に拡大。

(百万円)	1Q実績			
	2023年度	2022年度	増減額	増減率
1 売上高	49,907	44,551	+5,356	+12.0%
2 売上総利益 (対売上高比率)	28,979 (58.1%)	24,718 (55.5%)	+4,261	+17.2% (+2.6%)
3 販管費 (対売上高比率)	23,599 (47.3%)	22,713 (51.0%)	+886	+3.9% (△ 3.7%)
4 営業利益 (対売上高比率)	5,380 (10.8%)	2,005 (4.5%)	+3,375	+168.3% (+6.3%)
5 経常利益 (対売上高比率)	4,861 (9.7%)	2,638 (5.9%)	+2,223	+84.3% (+3.8%)
6 当期純利益 (対売上高比率)	3,348 (6.7%)	1,823 (4.1%)	+1,525	+83.6% (+2.6%)
7 EBITDA* (対売上高比率)	6,545 (13.1%)	3,365 (7.6%)	+3,180	+94.5% (+5.5%)

※ EBITDA (営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

第1四半期の連結合計の実績数値の詳細を説明いたします。

左のオレンジで囲った部分が実績値です。項目番号1番、売上高は前年同期比12.0%増の499億7百万円となりました。オンワード樫山のOMOサービスの利用拡大や、オンワード商事のユニフォーム事業の回復によって、国内アパレルが大幅に増収しました。国内ライフスタイル事業についても、バレエ用品やコスメ事業を展開するチャコット、ペット事業のクリエイティブヨーコ、カタログギフト事業の大和が堅調に推移しました。また海外においても全てのエリアで増収となりました。

2番、売上総利益は前年同期比17.2%増の289億7千9百万円となりました。前期に引き続き、値引き販売を抑制したことに加え、メンズスーツなど高単価の商品が稼働した結果、売上総利益率は前年同期から2.6%向上し、58.1%となりました。

3番、販管費は売上比率が3.7%改善し235億9千9百万円。金額は前年同期比3.9%増となりましたが、売上連動の賃借料などによるもので、固定費は店舗運営の効率化などにより圧縮し、適切にコントロールできております。

その結果、4番、営業利益は前年同期比168.3%増の53億8千万円となり、営業利益率も6.3%改善いたしました。なお販管費につきましては、29ページに補足情報として主な内訳を表示しておりますのでそちらをご参照ください。

5番、経常利益は、受取利息、支払利息、為替差損等の営業外損益が入り、前年同期比84.3%増の48億6千1百万円となりました。

6番、当期純利益は、固定資産の減損損失と法人税等のマイナスが入り、前年同期比83.6%増の33億4千8百万円となりました。

7番、EBITDAは前年同期比94.5%増の65億4千5百万円となりました。営業外損益、特別損益、法人税等につきましては、29ページに補足情報として内訳詳細を表示しておりますのでそちらをご参照ください。

12ページをご覧ください。

2023年度 1Q セグメント別売上高・営業利益

- 国内については、アパレルセグメント、ライフスタイルセグメントともに前年同期比で増収を実現。営業利益は、アパレルセグメントが+115.4%、ライフスタイルセグメントが+68.8%の大幅増益を達成。
- 海外については、前年同期比 20%を超える増収となり、営業損失が残るものの、営業損益は同4億円の改善。

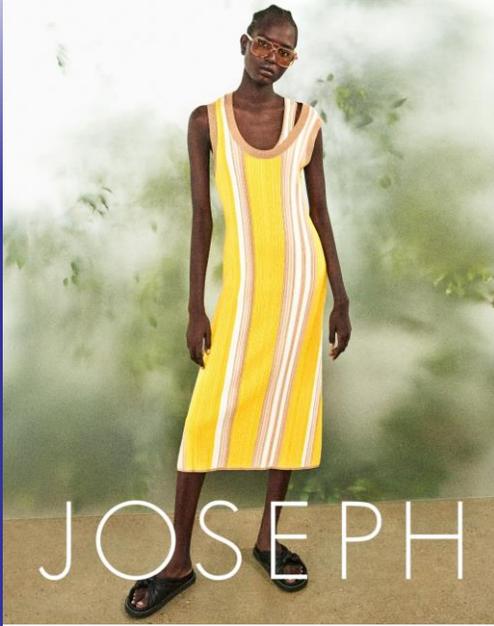
(百万円)			1Q実績			
			2023年度	2022年度	増減額	増減率
1	アパレル	売上高	37,560	33,443	+4,117	+12.3%
		営業利益	4,604	2,137	+2,467	+115.4%
2	ライフスタイル	売上高	10,539	9,808	+731	+7.5%
		営業利益	1,256	744	+512	+68.8%
3	国内合計	売上高	48,099	43,251	+4,848	+11.2%
		営業利益	5,860	2,881	+2,979	+103.4%
4	海外合計	売上高	4,496	3,732	+764	+20.5%
		営業利益	△251	△613	+362	↗
5	連結合計	売上高	49,907	44,551	+5,356	+12.0%
		営業利益	5,380	2,005	+3,375	+168.3%

※ グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

セグメント別の売上高、営業利益の実績を表示しております。国内につきましては、アパレルセグメント、ライフスタイルセグメントともに、前年同期比で増収を実現し、営業利益はアパレルセグメントが115.4%増、ライフスタイルセグメントが68.8%増の大幅増益を達成しました。

海外につきましては、前年同期比20%を超える増収となり、営業損失は残りますが、前年同期から4億円改善しました。

14ページをご覧ください。



Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

13

03

2023年度上期・通期 連結業績予想

2023年度上期・通期 連結業績予想

- 上期の売上高は、前年同期比78億円増(+9.5%)の900億円を予想。売上総利益率は同2.2%の向上を見込み、売上総利益は同62億円増加(+14.0%)する予想。販管費率は同2.0%改善を見込む。以上の結果、営業利益は同38億円増(+1972.5%)の40億円を予想。当期純利益は同19億円増(+404.2%)の24億円を予想。
- なお、通期の業績予想は、今回上方修正した上期の業績予想に、期初の下期予想を据え置いて合算したものの。

(百万円)	上期予想				通期予想			
	2023年度	2022年度	増減額	増減率	2023年度	2022年度	増減額	増減率
1 売上高	90,000	82,166	+7,834	+9.5%	188,800	176,072	+12,728	+7.2%
2 売上総利益 (対売上高比率)	50,980 (56.6%)	44,735 (54.4%)	+6,245	+14.0% (+2.2%)	105,780 (56.0%)	96,751 (54.9%)	+9,029	+9.3% (+1.1%)
3 販管費 (対売上高比率)	46,980 (52.2%)	44,542 (54.2%)	+2,438	+5.5% (△ 2.0%)	95,780 (50.7%)	91,537 (52.0%)	+4,243	+4.6% (△ 1.3%)
4 営業利益 (対売上高比率)	4,000 (4.4%)	193 (0.2%)	+3,807	+1972.5% (+4.2%)	10,000 (5.3%)	5,214 (3.0%)	+4,786	+91.8% (+2.3%)
5 経常利益 (対売上高比率)	3,400 (3.8%)	654 (0.8%)	+2,746	+419.9% (+3.0%)	9,000 (4.8%)	5,319 (3.0%)	+3,681	+69.2% (+1.8%)
6 当期純利益 (対売上高比率)	2,400 (2.7%)	476 (0.6%)	+1,924	+404.2% (+2.1%)	5,000 (2.6%)	3,061 (1.7%)	+1,939	+63.3% (+0.9%)
7 EBITDA* (対売上高比率)	6,600 (7.3%)	2,838 (3.5%)	+3,762	+132.6% (+3.8%)	15,100 (8.0%)	10,373 (5.9%)	+4,727	+45.6% (+2.1%)

※ EBITDA (営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

こちらでは、上期および通期の業績予想の詳細を表示しております。冒頭のハイライトで申し上げました通り、第1四半期の結果を踏まえて上方修正させていただきます。

オレンジで囲った部分が修正後の予想値です。下期は期初予想を据え置き、上期の増額分を上乗せしたものが通期の数字となります。

通期の売上高は前期比7.2%増、粗利益率は1.1%向上の56.0%、販管費率は1.3%改善の50.7%、営業利益率は2.3%上昇し5.3%となり、2012年度以来最高の営業利益率となる見通しです。

2023年度上期・通期 セグメント別売上高・営業利益予想

- 国内については、通期のアパレルセグメントの売上高は前期比91億円増(+7.1%)、営業利益は39億円増(+78.0%)、通期のライフスタイルセグメントの売上高は、同30億円増(+7.8%)、営業利益は5億円増(+20.1%)の大幅増益を予想。
- 海外については、通期の売上高が前期比21億円増(+12.2%)。営業損失が残るものの、営業損益は同8億円の改善を予想。

(百万円)			上期予想				通期予想			
			2023年度	2022年度	増減額	増減率	2023年度	2022年度	増減額	増減率
1	アパレル	売上高	65,922	59,704	+6,218	+10.4%	137,803	128,672	+9,131	+7.1%
		営業利益	3,279	484	+2,795	+577.5%	8,924	5,014	+3,910	+78.0%
2	ライフスタイル	売上高	20,557	19,155	+1,402	+7.3%	41,791	38,779	+3,012	+7.8%
		営業利益	1,968	1,484	+484	+32.6%	3,275	2,727	+548	+20.1%
3	国内合計	売上高	86,479	78,859	+7,620	+9.7%	179,594	167,451	+12,143	+7.3%
		営業利益	5,247	1,968	+3,279	+166.6%	12,199	7,741	+4,458	+57.6%
4	海外合計	売上高	8,613	7,733	+880	+11.4%	19,358	17,250	+2,108	+12.2%
		営業利益	△ 728	△ 1,132	+404	↗	△ 300	△ 1,090	+790	↗
5	連結合計	売上高	90,000	82,166	+7,834	+9.5%	188,800	176,072	+12,728	+7.2%
		営業利益	4,000	193	+3,807	+1972.5%	10,000	5,214	+4,786	+91.8%

※ グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

15ページのセグメント別予想につきましては、国内アパレル、ライフスタイルともに、売上高7%増、営業利益は国内アパレルが78%増、ライフスタイルが20%増と、国内事業は順調に推移する見通しです。海外は、前期の11億円の損失と比較すると大きく改善しますが、まだ3億円の損失が残る見通しです。2024年度には黒字化を実現したいと考えます。

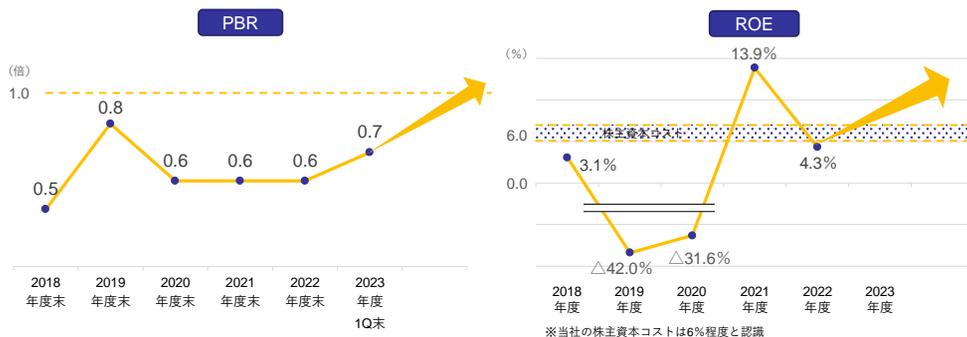
ここまでが第1四半期のPL実績および、上期・通期のPL予想についてのご説明となります。

BSにつきましては、30ページの補足資料をご参照ください。

ここで9ページにお戻りください。

現状認識と今後の計画

PBRとROEの改善が経営上の重要課題であるとの認識の下、来年4月に公表を予定している「ONWARD VISION 2030」の改訂バージョンおよび中期3か年経営計画(2024年度-2026年度)と合わせて総合的な財務戦略を公表し、スピード感をもって推進。



今後の開示予定

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」として、以下の開示を予定。

- 2023年度中間決算発表時（2023年10月）：財務方針や目標財務指標などの骨子
- 2023年度期末決算発表時（2024年4月）：財務方針と目標財務指標の実現に向けた具体策

Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

こちらは東京証券取引所からの要請(資本コストや株価を意識した経営の実現)により、「現状分析 ⇒ 計画策定・開示 ⇒ 実行」という一連の対応に向けて、現状認識と今後のスケジュールを示すものです。

現状株価は、本日7月7日のストップ高で502円、PBRは0.9程度、ROEについては、2021年度は14%となりましたが、2022年度は4.3%と、株主資本コストの約6%を超えておりません。2023年度末は6%を超えると想定しております。「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対策」につきましては、今後、上期中に財務方針や目標指標などの骨子を固めたうえで、上期決算発表時に開示、通期決算発表までには、『ONWARD VISION 2030』の見直しとともに、実現に向けた具体策を検討し公表する予定です。

17ページ、18ページはトピックスを記載しております。



04

TOPICS



～両社のプラットフォーム相互利用を目的とした戦略的パートナーシップ～

■ (株)ウィゴの概要

✓ 会社概要：

「YOUR FAN」をテーマに、ファッション・カルチャー・ライフスタイルを組み合わせ、新しい価値を創造し、街や世の中を彩る事を目指す、10代から20代のZ世代を主な顧客層とするファッションカンパニー。

- ✓ 売上高：300億円程度（2023年2月期）
- ✓ 店舗数：約170店舗（2023年2月現在）
- ✓ 従業員数：約2,200名（2023年2月現在）
- ✓ 当社出資比率：20.27%

■ 資本業務提携の目的

- ✓ ファッションカンパニーであるウィゴによる第三者割当増資を引き受けることにより、ウィゴと資本業務提携をスタート。
- ✓ 本資本業務提携は、当社とウィゴがそれぞれ培ってきた強みを組み合わせることにより、両社の事業拡大に資することを目的とし、ウィゴの強みであるZ世代向けのマーケティングプラットフォームを活用することにより新たな顧客層の獲得を目指す。

17ページは株式会社ウィゴとの資本業務提携について、18ページは2021年から資本業務提携を開始した、株式会社サンマリノの株式の追加取得についてです。

ウィゴ社の強みである若年層向けマーケティングプラットフォームと、当社の商品生産プラットフォーム、デジタルプラットフォームを活用することで、両社にとって大きなシナジーを生み出し、事業の拡大と進化が期待でき、お客様への新たな価値提供に繋がるものであると考えております。

繊維専門商社の株式会社サンマリノとの資本業務提携を深化
発行済み株式を一部追加取得

～“企画・生産構造改革”をさらに加速～

■ 株サンマリノの概要

- ✓ 会社概要：
婦人服の企画提案・OEM（相手先ブランドによる生産）事業を行う繊維専門商社。
アジア・欧州における幅広い情報収集・素材調達力と生産ネットワークを有する、
当社の主力取引先。
- ✓ 売上高：137億円（2022年6月期）
- ✓ 従業員数：158名（出向者含む。2022年6月現在）
- ✓ 当社出資比率：34.0%（異動前5.1%）

■ 資本業務提携の目的

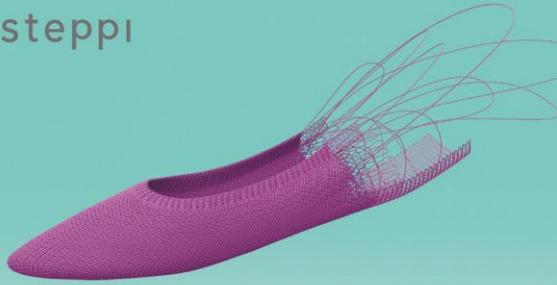
- ✓ 当社は、2021年よりサンマリノと資本業務提携を開始し、アパレルメーカーの競争力の源泉である企画・生産基盤を一層強固なものとする取り組みを推進。
- ✓ この度サンマリノの発行済み株式を一部追加取得することにより、商品企画・生産・物流プラットフォームであるPLM（製品ライフサイクル管理）を一層推し進め、生産から店舗・ECサイト、そしてお客さまへとつながる、余剰在庫を作らない、時代にあわせたサステナブルなモノづくり基盤の強化を目指す。

サンマリノ社との資本業務提携については、この度、発行済み株式を一部追加取得することによって、商品企画・生産・物流プラットフォームであるPLM（製品ライフサイクル管理）を一層進め、サステナブルなモノづくりの基盤を強化したい考えです。

19ページ以降は、補足資料としてご提示しておりますので、ご参照ください。

私からのご説明は、以上でございます。

ニットだから、
ひたすら心地いい靴。
steppi



Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

19

05

補足資料



23区 【オンワード樫山】

オンワード樫山の中核ブランド『23区』が前期に引き続き大幅に増収。ブランドの強みである「定番アイテム」の進化により大きく伸長。



1Q売上高
(前年同期比) +19.5%

23区

五大陸 【オンワード樫山】

メンズスーツの『五大陸』は、パターンメイドスーツの高価格帯シェアが拡大し顧客単価の向上が売上高を牽引。同時に粗利益の向上にも寄与。



1Q売上高
(前年同期比) +11.2%



ペットパラダイス 【クリエイティブヨーコ】

新規出店施策が奏功。ペットパラダイス原宿竹下通り店、アウトレット2店舗は、いずれも計画を大きく上回る推移。原宿竹下通り店はインバウンド売上が全体を押し上げ。



1Q売上高
(前年同期比) +16.4%

PET PARADISE

チャコット 【チャコット】

チャコットコスメティクス事業が大幅増収。パレエ、フィットネスも引き続き堅調に推移。コスメはフェイスカラーパレットを中心にプロモーション展開を強化。



1Q売上高
(前年同期比) +6.0%

Chacott

UNFILO / Steppi 【オンワード樫山】

2021年のデビューからヒット商品を創出し、2022年度において売上が約2倍に拡大したUNFILO（アンフィロ）は、当1Qも成長を継続。OMOサービスの利用拡大やヒット商品の創出が、ECと店舗の双方の売上高拡大に寄与。

UNFILOのシューズラインとして2022年にデビューしたSteppi（ステッピ）を2023年より単独ブランド化。ニットシューズとして履き心地や機能性を追求し、グッドデザイン賞も受賞。



1Q売上高
(前年同期比)

+96.3%

UNFILO

KASHIYAMA 【オンワードパーソナルスタイル】

直営店舗の売上が大幅伸長。2023年4月にリニューアルオープンした都内最大級の吉祥寺店は、計画を上回る好調な推移。顧客数が大きく伸長すると同時に、顧客単価も上昇。

法人ビジネスも、コロナ後に復調した企業ユニフォーム案件を獲得し、増収に貢献。



1Q売上高
(前年同期比)

+33.6%

KASHIYAMA

- 「クリック&トライ」サービスの導入店舗数は前年同期末から70店舗増加の360店舗となり、導入率は51%に上昇。
- 予約件数は前年同期から184%増の3万7千件。
- 導入店舗(既存)の売上高はコロナ前の2019年を13%上回り、未導入店舗の87%を26ポイント上回る。

■ 導入店舗数・予約件数の推移

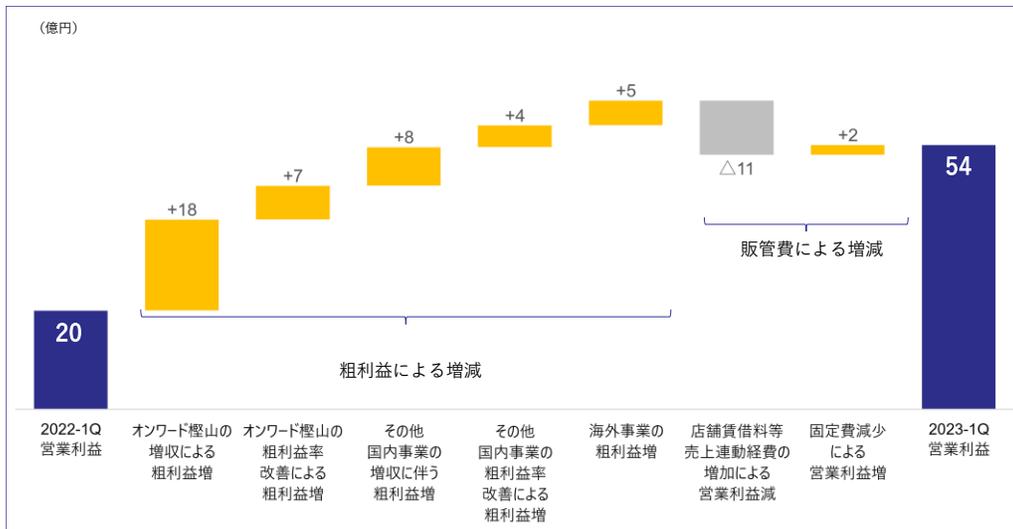
	2023年度 1Q	2022年度 1Q	増減	増減率
店舗数(店舗)	360	290	+70	-
導入率	51%	35%	+15%	-
予約件数(千件)	37	13	+24	+184%

■ 導入店舗・未導入店舗の売上高比較(2019年対比)

2019年対比	2023年度 1Q	2022年度 1Q
導入店舗	113%	97%
未導入店舗	87%	77%
効果(差引)	+26%	+20%

2023年度 1Q 営業利益増減分析（対前年同期）

■ 営業利益 増減ウォーターフォール



2023年度 1Q 事業会社別売上高・営業利益

			1Q			
			2023年度	2022年度	増減額	増減率
1	オンワード樺山+HD	売上高	29,174	26,135	+3,039	+11.6%
		営業利益	3,696	1,752	+1,944	+111.0%
2	オンワード商事	売上高	4,465	3,822	+643	+16.8%
		営業利益	727	461	+266	+57.7%
3	アイランド	売上高	1,521	1,465	+56	+3.8%
		営業利益	17	40	△ 23	△ 57.5%
4	国内アパレル計	売上高	37,560	33,443	+4,117	+12.3%
		営業利益	4,604	2,137	+2,467	+115.4%
5	チャコット	売上高	2,440	2,302	+138	+6.0%
		営業利益	279	133	+146	+109.8%
6	クリエイティブヨーコ	売上高	1,473	1,265	+208	+16.4%
		営業利益	121	70	+51	+72.9%
7	大和	売上高	5,628	5,153	+475	+9.2%
		営業利益	698	301	+397	+131.9%
8	国内ライフスタイル計	売上高	10,539	9,808	+731	+7.5%
		営業利益	1,256	744	+512	+68.8%
9	国内小計	売上高	48,099	43,251	+4,848	+11.2%
		営業利益	5,860	2,881	+2,979	+103.4%
10	ヨーロッパ計	売上高	2,615	2,318	+297	+12.8%
		営業利益	△ 164	△ 280	+116	↗
11	アメリカ計	売上高	441	286	+155	+54.2%
		営業利益	△ 92	△ 194	+102	↗
12	アジア計	売上高	1,440	1,128	+312	+27.7%
		営業利益	5	△ 139	+144	↗
13	海外小計	売上高	4,496	3,732	+764	+20.5%
		営業利益	△ 251	△ 613	+362	↗
14	連結合計	売上高	49,907	44,551	+5,356	+12.0%
		営業利益	5,380	2,005	+3,375	+168.3%

※ グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

2023年度 1 Q 販路別売上高

- リアル販路(百貨店+SCその他)は、12%増収。
- ECは、8%増収。EC化率は28%、自社EC比率は86%と高水準を維持。

(百万円)	百貨店	SCその他	リアル販路計	自社EC	他社ECモール	EC計	売上高計	EC化率	自社EC比率
1 オンワード樫山	12,009	9,642	21,651	6,525	998	7,523	29,174	25.8%	86.7%
2 売上構成比	41.2%	33.0%	74.2%	22.4%	3.4%	25.8%	100.0%		
3 前年同期比	+9.9%	+15.4%	+12.3%	+9.1%	+13.4%	+9.7%	+11.6%	△ 0.5%	△ 0.4%
4 国内EC対象事業会社8社*	2,504	6,418	8,922	3,646	645	4,291	13,213	32.5%	85.0%
5 国内EC対象事業会社計	14,513	16,060	30,573	10,171	1,643	11,814	42,387	27.9%	86.1%
6 売上構成比	34.2%	37.9%	72.1%	24.0%	3.9%	27.9%	100.0%		
7 前年同期比	+7.6%	+16.2%	+11.9%	+7.8%	+10.8%	+8.2%	+10.9%	△ 0.7%	△ 0.3%

※ Eコマースを運営している以下国内事業会社8社の会計
(アイランド、ティアクラッセ、オンワードパーソナルスタイル、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、インティメイツ、KOKOBUY)

2023年度上期・通期 連結業績予想（期初予想対比）

- 上期の売上高は、期初予想から38億円増加(+4.4%)し、900億円に拡大する予想。営業利益は、期初予想から30億円増(+300.0%)の40億円、経常利益は27億円増(+385.7%)の34億円、当期純利益は10億円増(+71.4%)の24億円を予想。
- 下期は期初予想を据え置く。

	上期予想				通期予想			
	2023年度	期初予想	増減額	増減率	2023年度	期初予想	増減額	増減率
1 売上高	90,000	86,200	+3,800	+4.4%	188,800	185,000	+3,800	+2.1%
2 売上総利益 (対売上高比率)	50,980 (56.6%)	47,600 (55.2%)	+3,380	+7.1% (+1.4%)	105,780 (56.0%)	102,400 (55.4%)	+3,380	+3.3% (+0.6%)
3 販管費 (対売上高比率)	46,980 (52.2%)	46,600 (54.1%)	+380	+0.8% (△ 1.9%)	95,780 (50.7%)	95,400 (51.6%)	+380	+0.4% (△ 0.9%)
4 営業利益 (対売上高比率)	4,000 (4.4%)	1,000 (1.2%)	+3,000	+300.0% (+3.2%)	10,000 (5.3%)	7,000 (3.8%)	+3,000	+42.9% (+1.5%)
5 経常利益 (対売上高比率)	3,400 (3.8%)	700 (0.8%)	+2,700	+385.7% (+3.0%)	9,000 (4.8%)	6,300 (3.4%)	+2,700	+42.9% (+1.4%)
6 当期純利益 (対売上高比率)	2,400 (2.7%)	1,400 (1.6%)	+1,000	+71.4% (+1.1%)	5,000 (2.6%)	4,000 (2.2%)	+1,000	+25.0% (+0.4%)
7 EBITDA [※] (対売上高比率)	6,600 (7.3%)	3,600 (4.2%)	+3,000	+83.3% (+3.1%)	15,100 (8.0%)	12,100 (6.5%)	+3,000	+24.8% (+1.5%)

※ EBITDA（営業利益+減価償却費およびのれん償却費）

2023年度上期・通期 セグメント別売上高・営業利益予想（期初予想対比）

- 通期の国内アパレルの売上高は、期初予想から28億円増(+4.5%)、営業利益は21億円増(+178.1%)の予想。
- 国内ライフスタイルの売上高は、同3億円増(+1.4%)、営業利益は同3億円増(+19.6%)の予想。
- 海外の売上高は、同7億円増(+9.2%)、営業損益は同1億円の改善を予想。

(百万円)

		上期予想				通期予想				
		2023年度	期初予想	増減額	増減率	2023年度	期初予想	増減額	増減率	
1	アパレル	売上高	65,922	63,086	+2,836	+4.5%	137,803	134,967	+2,836	+2.1%
		営業利益	3,279	1,179	+2,100	+178.1%	8,924	6,824	+2,100	+30.8%
2	ライフスタイル	売上高	20,557	20,267	+290	+1.4%	41,791	41,501	+290	+0.7%
		営業利益	1,968	1,645	+323	+19.6%	3,275	2,952	+323	+10.9%
3	国内合計	売上高	86,479	83,353	+3,126	+3.8%	179,594	176,468	+3,126	+1.8%
		営業利益	5,247	2,824	+2,423	+85.8%	12,199	9,776	+2,423	+24.8%
4	海外合計	売上高	8,613	7,886	+727	+9.2%	19,358	18,631	+727	+3.9%
		営業利益	△ 728	△ 810	+82	↗	△ 300	△ 382	+82	↗
5	連結合計	売上高	90,000	86,200	+3,800	+4.4%	188,800	185,000	+3,800	+2.1%
		営業利益	4,000	1,000	+3,000	+300.0%	10,000	7,000	+3,000	+42.9%

※ グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

2023年度上期・通期 事業会社別売上高・営業利益予想



- 通期の国内事業の売上高は、前期から121億円増(+7.3%)、営業利益は45億円増(+57.6%)の予想。
- 海外事業の売上高は、前期から21億円増(+12.2%)、営業損益は8億円の改善を予想。

(百万円)		上期				通期				
		2023年度	2022年度	増減額	増減率	2023年度	2022年度	増減額	増減率	
1	オンワード樺山+HD	売上高	51,419	46,055	+5,364	+11.6%	107,858	101,109	+6,749	+6.7%
		営業利益	2,401	332	+2,069	+623.2%	6,887	4,524	+2,363	+52.2%
2	オンワード商事	売上高	7,228	6,865	+363	+5.3%	14,969	13,650	+1,319	+9.7%
		営業利益	750	523	+227	+43.4%	1,350	1,021	+329	+32.2%
3	アイランド	売上高	2,947	2,970	△ 23	△ 0.8%	6,341	6,285	+56	+0.9%
		営業利益	34	22	+12	+54.5%	152	80	+72	+90.0%
4	国内アパレル計	売上高	65,922	59,704	+6,218	+10.4%	137,803	128,672	+9,131	+7.1%
		営業利益	3,279	484	+2,795	+577.5%	8,924	5,014	+3,910	+78.0%
5	チャコット	売上高	4,976	4,714	+262	+5.6%	9,473	8,849	+624	+7.1%
		営業利益	530	342	+188	+55.0%	573	342	+231	+67.5%
6	クリエイティブヨーコ	売上高	2,933	2,562	+371	+14.5%	6,246	5,801	+445	+7.7%
		営業利益	184	108	+76	+70.4%	545	419	+126	+30.1%
7	大和	売上高	10,837	10,106	+731	+7.2%	21,836	20,629	+1,207	+5.9%
		営業利益	1,018	703	+315	+44.8%	1,827	1,489	+338	+22.7%
8	国内ライフスタイル計	売上高	20,557	19,155	+1,402	+7.3%	41,791	38,779	+3,012	+7.8%
		営業利益	1,968	1,484	+484	+32.6%	3,275	2,727	+548	+20.1%
9	国内小計	売上高	86,479	78,859	+7,620	+9.7%	179,594	167,451	+12,143	+7.3%
		営業利益	5,247	1,968	+3,279	+166.6%	12,199	7,741	+4,458	+57.6%
10	ヨーロッパ計	売上高	4,637	4,244	+393	+9.3%	10,694	9,960	+734	+7.4%
		営業利益	△ 462	△ 514	+52	↗	108	△ 136	+244	↗
11	アメリカ計	売上高	880	759	+121	+15.9%	1,615	1,636	△ 21	△ 1.3%
		営業利益	△ 271	△ 407	+136	↗	△ 302	△ 576	+274	↗
12	アジア計	売上高	3,096	2,730	+366	+13.4%	7,049	5,654	+1,395	+24.7%
		営業利益	5	△ 211	+216	↗	△ 106	△ 378	+272	↗
13	海外小計	売上高	8,613	7,733	+880	+11.4%	19,358	17,250	+2,108	+12.2%
		営業利益	△ 728	△ 1,132	+404	↗	△ 300	△ 1,090	+790	↗
14	連結合計	売上高	90,000	82,166	+7,834	+9.5%	188,800	176,072	+12,728	+7.2%
		営業利益	4,000	193	+3,807	+1972.5%	10,000	5,214	+4,786	+91.8%

※ グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

2023年度1Q 連結販管費 / 当期純利益影響項目

ONWARD

(百万円)	2023年度1Q	2022年度1Q	増減率
1 人件費	8,637	8,448	+2.2%
2 賃借料	6,881	6,474	+6.3%
3 運賃運搬費	1,621	1,561	+3.8%
4 広告宣伝費	1,482	926	+60.0%
5 減価償却費	770	982	△ 21.6%
6 その他	4,208	4,322	△ 2.6%
7 販管費計	23,599	22,713	+3.9%

【当期純利益影響項目】

- 受取利息・受取配当金等による営業外収益1億円
- 為替差損、支払利息等により営業外費用は6億円
- 減損損失により特別損失2億円
- 法人税等は、業績向上により将来課税所得の増加が見込まれ、繰延税金資産の計上に伴い税負担率が低下。
- 以上の結果、当期純利益は33億円となった。

(百万円)	2023年度1Q	2022年度1Q	増減率
8 営業利益	5,380	2,005	+168.3%
9 営業外収益	120	1,046	△ 88.5%
10 受取利息・配当金	35	6	+483.3%
11 為替差益		860	-
12 助成金収入		84	-
13 その他	85	95	△ 10.5%
14 営業外費用	639	414	+54.3%
15 支払利息	176	52	+238.5%
16 為替差損	352		-
17 持分法による投資損失	2	15	△ 86.7%
18 その他	109	346	△ 68.5%
19 営業外損益計	△ 519	632	-
20 経常利益	4,861	2,638	+84.3%
21 特別利益		1,343	-
22 関係会社株式売却益		1,317	-
23 その他		25	-
24 特別損失	152	459	△ 66.9%
25 減損損失	152	458	△ 66.8%
26 その他		1	-
27 特別損益	△ 152	883	-
28 税前利益	4,709	3,521	+33.7%
29 法人税等	1,278	2,016	△ 36.6%
30 少数株主損益	82	△ 317	-
31 当期純利益	3,348	1,823	+83.6%

2023年度1Q 連結貸借対照表

(億円)	2023年度1Q末	2022年度末	増減額	増減率	増減要因	
1	資産合計	1,643	1,591	+52	+3.3%	
2	流動資産	661	622	+39	+6.3%	
3	現金及び預金	135	138	△ 3	△ 2.2%	
4	売掛金	158	139	+19	+13.7%	売上高拡大
5	棚卸資産	324	307	+17	+5.5%	売上高拡大に向けた仕入増
6	固定資産	982	969	+13	+1.3%	
7	有形固定資産	531	531	+0	+0.0%	
8	無形固定資産	90	91	△ 1	△ 1.1%	
9	投資その他の資産	360	347	+13	+3.7%	関係会社株式の増加
10	負債合計	835	741	+94	+12.7%	
11	買掛金	221	214	+7	+3.3%	
12	借入金	353	272	+81	+29.8%	資金需要による短期借入増
13	その他	261	255	+6	+2.4%	
14	純資産合計	808	850	△ 42	△ 4.9%	少数株主持分の減少
15	自己資本比率	46.1%	47.0%	-	△ 0.9%	
16	流動比率	104.0%	117.2%	-	△ 13.2%	

2023年度上期・通期 グループ別業績予想



	(百万円)	上期予想				通期予想			
		2023年度	2022年度	増減額	増減率	2023年度	2022年度	増減額	増減率
オンワード ド 横山	1 売上高	51,419	46,055	+5,364	+11.6%	107,858	101,109	+6,749	+6.7%
	2 売上総利益	31,121	27,158	+3,963	+14.6%	65,112	60,068	+5,044	+8.4%
	(売上比)	(60.5%)	(59.0%)		(+1.5%)	(60.4%)	(59.4%)		(+1.0%)
	3 販管費	28,720	26,826	+1,894	+7.1%	58,225	55,544	+2,681	+4.8%
(売上比)	(55.9%)	(58.2%)		(Δ 2.3%)	(54.0%)	(54.9%)		(Δ 0.9%)	
4 営業利益	2,401	332	+2,069	+623.2%	6,887	4,524	+2,363	+52.2%	
(売上比)	(4.7%)	(0.7%)		(+4.0%)	(6.4%)	(4.5%)		(+1.9%)	
国内 小計	5 売上高	35,060	32,804	+2,256	+6.9%	71,736	66,342	+5,394	+8.1%
	6 売上総利益	17,757	16,156	+1,601	+9.9%	36,193	32,516	+3,677	+11.3%
	(売上比)	(50.6%)	(49.3%)		(+1.3%)	(50.5%)	(49.0%)		(+1.5%)
	7 販管費	14,911	14,520	+391	+2.7%	30,881	29,299	+1,582	+5.4%
(売上比)	(42.5%)	(44.3%)		(Δ 1.8%)	(43.0%)	(44.2%)		(Δ 1.2%)	
8 営業利益	2,846	1,636	+1,210	+74.0%	5,312	3,217	+2,095	+65.1%	
(売上比)	(8.1%)	(5.0%)		(+3.1%)	(7.4%)	(4.8%)		(+2.6%)	
海外 小計	9 売上高	8,613	7,733	+880	+11.4%	19,358	17,250	+2,108	+12.2%
	10 売上総利益	3,827	3,161	+666	+21.1%	8,443	7,552	+891	+11.8%
	(売上比)	(44.4%)	(40.9%)		(+3.5%)	(43.6%)	(43.8%)		(Δ 0.2%)
	11 販管費	4,555	4,293	+262	+6.1%	8,743	8,642	+101	+1.2%
(売上比)	(52.9%)	(55.5%)		(Δ 2.6%)	(45.2%)	(50.1%)		(Δ 4.9%)	
12 営業利益	△ 728	△ 1,132	+404	↗	△ 300	△ 1,090	+790	↗	
(売上比)	-	-			-	-			

※ 単純合算

ONWARD

ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は
一切責任を負いませんのでご承知おきください。